

朝毎日のように数名の子が花壇を見えています。
何をしているかと見てみるとダンゴムシを見えています。
4月に話したサクラの不思議に続いて、
今日はダンゴムシの秘密について調べたので話したいと思います。

ダンゴムシは、「ムシ」と名前が付いていますが、実は昆虫の仲間ではありません。大きく分けるとエビやカニと同じ甲殻類の仲間です。足の数は14本ですが、子供のうちは12本しか足がなく、大人になると2本増えて14本になります。

好きな場所は、落ち葉や石の下など湿ったところでは、
先程エビやカニの仲間ですといいました。エビやカニは、水の中で住んでいるでしょう。それが長年かけて陸で生活するようになったけれど、やはり湿ったところを好み乾燥したところは苦手だそうです。

ダンゴムシのオスとメスの見分け方は、体に黄色い斑点があるのがメス、全体に黒光りして見えるのがオスです。

ダンゴムシには不思議な習性があります。ダンゴムシを迷路に置くと、なんと最初に左に曲がれば、次は右、左。最初に右に曲がれば、次は左、右。と交互に曲がります。なぜ、右左右左へ行くかというとなら敵から遠くへ逃げるためだと考えられています。小さな虫だけど頭がいいんです。

こんなダンゴムシですが生物界にとってとても重要な生き物なのです。ダンゴムシは落ち葉を食べているのですが、落ち葉を分解し、栄養のある良い土にしています。このことで植物がよりよく育つことにつながるのです。

今日は、ダンゴムシの秘密について話しました。
他にも秘密について知っている人は校長先生に教えてください。
また、興味があることなどタブレットや本などで調べてみると面白いかもしれません。